大垣市日本昭和音楽村資料

江口夜詩関係年譜

| 西暦 | 年号 | 年齢 | 主な事柄 |
| --- | --- | --- | --- |
| 1903 | 明治36年 | 0 | 7月1日岐阜県養老郡時村（現・大垣市上石津町）で生まれる。 |
| 1918 | 大正7年 | 15 | 時尋常高等小学校卒業。 |
| 1919 | 大正8年 | 16 | 海軍志願兵に応募。合格し横須賀海兵団に入団。第一期軍楽補習生として始業。 |
| 1920 | 大正9年 | 17 | 第一期軍楽補習生を首席で卒業。軍楽兵として舞鶴海兵団に転勤する。以後軍楽隊ではトロンボーンを担当。 |
| 1921 | 大正10年 | 18 | 皇太子（昭和天皇）のヨーロッパ親善旅行随行軍楽隊員として全国から選抜された41名の1人に入る。6ヶ月間にわたりイギリス、フランス、イタリア等ヨーロッパ各国を歴訪し、本場のシンフォニーやオペラに接する。帰国後、東京音楽学校（現・東京芸術大学）に、海軍軍楽隊専属の作曲家としての将来を嘱望され、海軍省委託生として入学。2年通学の後、さらに4年間特別委託生として通う。 |
| 1922 | 大正11年 | 19 | 日英交歓音楽会で英国軍艦「レナウン号」軍楽隊との合同演奏に参加。 |
| 1923 | 大正12年 | 20 | 帝国ホテルでのドボルザーク「新世界」の日本初演奏（軍楽隊）に参加。 |
| 1924 | 大正13年 | 21 | 音楽家としての将来に迷いを感じ、新国劇の沢田正二郎を訪ね弟子入りを志願するが思いなおして作曲の道を志す。 |
| 1925 | 大正14年 | 22 | 処女作「千代田城を仰ぎて」完成。開局直後のラジオ放送で発表。 |
| 1926 | 大正15年 | 23 | 佐藤清吉楽長渡欧送別大音楽会でのベートーヴェン「第9交響曲」演奏にチェロ奏者として参加。吹奏楽「By the lake」作曲。 |
| 1927 | 昭和2年 | 24 | 行進曲「厳かなる悲しみ（大正天皇大御行を悲しみ奉りて）」作曲。 |
| 1928 | 昭和3年 | 25 | 昭和天皇即位御大典供奉軍楽隊として京都へ随行。「生涯における最大の作曲であり、最大の栄誉」と自認する吹奏楽大序曲「挙国の歓喜」発表。 |
| 1929 | 昭和4年 | 26 | 行進曲「悲しき兵舎」作曲。「夜の愁い」でビクターレコードレコードからデビュー。 |
| 1930 | 昭和5年 | 27 | 「日本海行進曲」作曲。 |
| 1931 | 昭和6年 | 28 | 交響幻想曲「芳春」宮中で御前演奏される。「艦隊行進曲」作曲。海軍を退役する。ポリドールレコード専属となる。 |
| 1932 | 昭和7年 | 29 | 「哀しき口笛」「若いマドロス」「港離れて」「明日は上陸」がヒット亡き妻を偲んで作曲した「忘られぬ花」と「時雨ひととき」が大ヒットとなる。「・・・それまでシンフォニー作家として立つ理想をもっていた私は、流行歌などあまり重んじていなかった・・・・人の魂を揺り動かす、それこそ本当の芸術ではないか。・・・」と流行歌の作曲に生涯を打ち込むことを決心する。 |
| 1933 | 昭和8年 | 30 | コロムビアレコード専属となる。「十九の春」「護れ大空」「秋の銀座」発売。 |
| 1934 | 昭和9年 | 31 | 「希望の首途」「急げ幌馬車」「そんなお方があったなら」「曠野を行く」発売。 |
| 1935 | 昭和10年 | 32 | 「君は満洲」「ハイキングの歌」「夕日は落ちて」発売。 |
| 1936 | 昭和11年 | 33 | 「初恋日記」「花嫁行進曲」発売。「詩と音楽の世界一周旅行」と銘打ち詩人西條八十と欧州旅行を三ヶ月間をする。国民歌謡「心のふるさと」ヒット。 |
| 1937 | 昭和12年 | 34 | 「夕日のアリナレ」発売。「ふんなのないわ」が官能的という理由で発売禁止となり話題となる。 |
| 1938 | 昭和13年 | 35 | 「夜霧の波止場」発売。 |
| 1939 | 昭和14年 | 36 | ポリドールレコード専属となる。「国民音楽院」を創設。小畑実・曽根史郎・津村謙・春日八郎などの歌手を輩出。「くろがねの力」「体育大行進曲」発売。 |
| 1940 | 昭和15年 | 37 | 「月月火水木金金」発売。 |
| 1941 | 昭和16年 | 38 | 「戦陣訓の歌」発売。「流行歌歌唱法」出版。 |
| 1942 | 昭和17年 | 39 | 「ハワイ海戦」「マレー沖海戦」発売。 |
| 1943 | 昭和18年 | 40 | 海軍特別報道班員として作家　坪田譲治と南方戦線取材。 |
| 1944 | 昭和19年 | 41 | 「轟沈」「海底万里」発売。 |
| 1945 | 昭和20年 | 42 | 終戦を疎開先の滋賀県長浜で迎える。 |
| 1946 | 昭和21年 | 43 | 「歌謡読本　歌謡の正しい歌い方」出版。 |
| 1947 | 昭和22年 | 44 | キングレコード専属となる。 |
| 1948 | 昭和23年 | 45 | 「緑の牧場」「長崎のザボン売り」「憧れのハワイ航路」発売。　「関ヶ原音頭」作曲。 |
| 1949 | 昭和24年 | 46 | 「東京の青い空」「天草のバテレン祭り」発売。 |
| 1950 | 昭和25年 | 47 | NHKラジオ「今週の明星」で「憧れのハワイ航路」と古賀政男の「湯の町エレジー」が毎週1位争いをする。「憧れのハワイ航路」を新東宝が映画化。 |
| 1951 | 昭和26年 | 48 | 「赤いマフラー」発売。 |
| 1952 | 昭和27年 | 49 | ラジオ東京「素人うた合戦」にレギュラー審査員としてとして出演。「赤いランプの終列車」発売。 |
| 1953 | 昭和28年 | 50 | 「湯の町月夜」発売。 |
| 1954 | 昭和29年 | 51 | 「瓢箪ブギ」作曲。 |
| 1955 | 昭和30年 | 52 | 連続ラジオドラマ「歌謡物語　江口夜詩篇　流す涙も」放送。「裏町ピエロ」発売。「江口夜詩作曲生活30周年郷土訪問大演奏会」を大垣スポーツセンター、岐阜市民センターで開催。市内をパレードする。 |
| 1956 | 昭和31年 | 53 | テレビ「歌謡日記・江口夜詩の巻」に出演。日本歌謡学校を設立開校。「オリンピックの歌」発表。「浮草の宿」「トチチリ流し」発売。「浮草の宿」を日活が映画化。 |
| 1957 | 昭和32年 | 54 | 日本歌謡学校開校1周年祝賀パーティーを開催。 |
| 1958 | 昭和33年 | 55 | 東芝レコードに専属入社。王子歌謡学校開校。「赤いランプの終列車」を日活が映画化。 |
| 1960 | 昭和35年 | 57 | 日本グラモフォンに専属入社。元岐阜市長・松尾吾策氏作詞「松籟」作曲。「江口夜詩氏レコード生活30周年祝賀会」東京丸の内東京会館で開催。日本歌謡学校を渋谷区に移転「江口夜詩歌謡学院」に改称。 |
| 1961 | 昭和36年 | 58 | テレビ「夫と妻の記録　高橋掬太郎」に友情出演。森繁久弥朗読「城ー舞踊抒情詩のこころみ」発表。 |
| 1962 | 昭和37年 | 59 | テレビ「歌う回転木馬・江口夜詩傑作集」に出演。「雪姫のうた」（テレビ「白鳥の騎士」主題歌発売。専属をやめフリーとなる。 |
| 1963 | 昭和38年 | 60 | 病に倒れる。以後15年の闘病生活。 |
| 1968 | 昭和43年 | 65 | 江口浩司編曲「あなたの気分が分かるなら」発売。 |
| 1969 | 昭和44年 | 66 | 「全国養護学校校歌」と元愛知県知事（桑原幹根）詞「みんなで歩こう」作曲。 |
| 1970 | 昭和45年 | 67 | 「上石津町青少年歌」「上石津町音頭」を口述で作詞作曲。上石津町自治功労者となる。 |
| 1971 | 昭和46年 | 68 | 愛知県知事（桑原幹根）作詞「裾野の朝」「蓼科高原の夏」発表。 |
| 1972 | 昭和47年 | 69 | 上石津町立時小学校校歌「仰ぐ烏帽子の」作曲。 |
| 1974 | 昭和49年 | 71 | 上石津町名誉町民となる。 |
| 1978 | 昭和53年 | 75 | 12月8日午後6時30分府中市慈恵医大第3病院で没。世田谷の大吉寺で葬儀。墓所は東京の法照寺。上石津町主催の追悼式を行う。 |
| 1979 | 昭和54年 |  | 文化庁助成公演「1979日本の音楽を世界の人々に」の「古賀政男・江口夜詩記念演奏会」で「憧れのハワイ航路」が新日本フィルによって追悼演奏。岐阜県上石津町に江口夜詩顕彰碑が建立される。 |
| 1985 | 昭和60年 |  | 「故江口夜詩を偲び江口浩司を励ます会」キャピトル東急で開催。 |
| 1988 | 昭和63年 |  | ぎふ中部未来博覧会「上石津の日」で「憧れのハワイ航路千人大合唱」。 |
| 1990 | 平成2年 |  | 水嶺湖畔でNHK「ふるさとスペシャルステージ・江口夜詩ヒットメロディー」開催。 |
| 1994 | 平成6年 |  | 5月4日　日本昭和音楽村　江口夜詩記念館オープン開館記念式典・コンサート。5月5日　海上自衛隊東京音楽隊「江口夜詩名作選」演奏会。5月15日　昭和の音楽を回顧するシンポジウム。5月29日　上石津・昭和音楽祭「江口夜詩の世界」（NHK・BS2地域イベントアワー中継収録）。 |
| 1995 | 平成7年 |  | 「映画で観る江口夜詩の世界」開催。「SPレコードで聴く江口夜詩の世界」開催。 |
| 1997 | 平成8年 |  | 対談「江口夜詩と私の人生」開催。 |
| 1998 | 平成9年 |  | 古賀政男音楽博物館「大衆音楽の殿堂」に作曲家として顕彰される。 |
| 2000 | 平成12年 |  | ウエルカム21特別展「記念館を訪ねて」～日本のうたをつくりあげたパイオニア達～瀧廉太郎・野口雨情・中山晋平・サトウハチロー・古賀政男・古関裕而の記念館・博物館の資料を江口夜詩記念館に集め特別展示開催。21世紀を迎える祝祭大合唱で上石津町民の10分の1以上の700人が大垣市室内管弦楽団の演奏で「心のふるさと」を大合唱。 |
| 2001 | 平成13年 |  | 江口夜詩記念館企画展「憧れのハワイ航路と同時代を飾ったうたたち」開催。 |
| 2003 | 平成15年 |  | 江口夜詩生誕100年＆江口夜詩記念館開館10周年事業開催。 |
| 2007 | 平成19年 |  | 昭和の日施行記念「江口夜詩と昭和を彩った歌たち」特別展、特別講演会開催。 |
| 2008 | 平成20年 |  | 江口夜詩没後30年＆江口夜詩記念館開館15周年事業開催。大垣市制90周年記念事業先賢展で「江口夜詩」展示。 |
| 2009 | 平成21年 |  | 江口夜詩記念館写真展「江口夜詩が愛した故郷の風景」開催。 |
| 2010 | 平成22年 |  | 江口浩司先生追悼事業「歌い継がれる永遠の江口メロディー」開催。江口夜詩記念館写真展「忘られぬ花」2010開催。 |
| 2011 | 平成23年 |  | 江口夜詩記念館写真展「忘られぬ花」2011開催。 |
| 2012 | 平成24年 |  | 古賀政男音楽博物館でミュージアム講座「江口浩司、江口夜詩の抒情歌」開催。江口夜詩記念館写真展「忘られぬ花」2012開催 |
| 2013 | 平成25年 |  | 江口夜詩生誕110年　江口夜詩記念館開館20周年事業開催。周年記念演奏会で海上自衛隊東京音楽隊が江口夜詩、浩司作品を演奏。江口夜詩記念館写真展「忘られぬ花」2013開催。 |